



## 中川学童保育所 完成お披露目会

名古屋

全国で初めて都市公園内に立地した名古屋港区港明の「中川学童保育所」が完成して14日、父母や地元関係者ら約30人が参加してお披露目会が開かれた。写真。

施設の外見はプレハブだが、内装には県産のスギ板を用い、父母会会長の渡辺雅和さん(48)は「3週間前から利用している子どもたちは、木のぬくもりを感じ、競って床に寝そべっている」と紹介。同保育所に通う子どもたちがけん玉や歌を披露した。

学童保育所は民設民営が原則の同市では、父母側が

土地を確保すれば、市がプレハブをリースで建てて提供する仕組みとなっていた。中川学童も以前は同区七番町の借地にあった。

しかし、土地の返還期限が迫り、新たな場所探しに困窮する中で、2年前の都市公園法の改正で、公園内の立地が可能になり、移転が実現した。さらに、「プレハブでは、夏は暑く、冬

は寒い」などの問題があったため、父母らの負担で内装を木質化した。

公園立地には周囲の理解

が必要で、今年度、同市内では8か所の学童が希望したが、実現は中川など2か所にとどまっている。